

令和9年度目標指標における重点取組項目の概要

【重点1】四万十川一斉清掃の参加者数

○目標値：3,300人以上（流域5市町の合計）

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 5px;">各市町の目標値</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">四万十市 : 1,050人</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">中土佐町 : 70人</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">梼原町 : 250人</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">津野町 : 330人</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">四万十町 : 1,600人</td></tr> </table>	各市町の目標値	四万十市 : 1,050人	中土佐町 : 70人	梼原町 : 250人	津野町 : 330人	四万十町 : 1,600人	<p>各市町の直近3～6年間の参加者数（実績）から平均値を目標値として設定。少子高齢化等により参加者の確保が難しくなる状況であるが、現在の参加者数を維持し、本取組を継続していくことを目標とする。</p>
各市町の目標値							
四万十市 : 1,050人							
中土佐町 : 70人							
梼原町 : 250人							
津野町 : 330人							
四万十町 : 1,600人							

【目標達成のための取組】

各市町における啓発及び継続的な参加者確保のための実施手法の検討



- ・各市町の実施内容（方法）等の共有、優良事例の実践
- ・SNS等を用いた情報発信の実践

市町間の情報共有の
機会を創出

【重点2】川で遊んだ子どもの割合

○目標値：60%以上

県内の他の1級河川における、川で遊んだ子どもの割合と比較して、高い数値を残している状況であるが、学校での環境学習等以外で自主的に川で遊んでいる子どもの数は減っているものと思われる。R4年度末時点での直近5年間では、60%を下回った年もあったため、60%を基準として維持していくことを目標とする。

【目標達成のための取組】

川にふれ合う行事の実施の充実・広報、安全・安心で楽しい水辺活動の機会創出、学校等での環境学習実施への支援等



- ・学校等での環境学習実施支援
- ・安全対策を含めた川での活動の担い手育成

【重点3】流域住民1人当たりの1日のゴミの量

○目標値：849g以下

第5期高知県廃棄物処理計画における、一般廃棄物の減量化目標10%減（R2推計値とR2目標値を比較）をもとに、849g以下に削減することを目標とする。

【目標達成のための取組】

流域住民のゴミ減量化意識の向上、リサイクル率向上に向けた施策



- ・各市町における啓発の充実
- ・流域エリアでの数値把握の検討（現在は市町内全域）

市町間の情報共有の
機会を創出